

IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第3号

発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7115



(看護学科実習より) 4ページ

(作業療法学科実習より) 5ページ



= 目次 =

	ページ		ページ
出来事	2	図書館受入図書	4
理事長の日程から	2	報告	4
学長の日程から	2	在宅障害者のニーズ調査開始	4
大学来訪者	2	今井教授	
講演会の開催	2	中国の大学の名誉教授に	4
米国作業療法士協会前会長		渡辺美智雄元副総理逝く	4
来校し大いに楽しむ	2	学科・センターだより	4
お知らせ	2	実りの秋に寄せて	4
学生室から	2	理学療法学科報告	5
管財課から	3	臨床実習、無事終了	5
入試準備室から	3	言語聴覚障害学科	5
委員会報告	3	放射線・情報科学科	5
教務委員会	3	教員紹介	5
学生委員会	3	学生四方山話	6
国際交流委員会	3	リレーエッセイ	6
情報化委員会	3	編集後記	6
紀要委員会	4		

出来事

◇理事長の日程から

9月29日、高木理事長は文部省を訪問。新学部増設にかかる申請書類を提出し、無事受理していただきました。

新学部は医療福祉学部という名称で、医療経営管理学科と医療福祉学科(1学年定員各100名)の2学科にて構成され、平成9年4月に1期生を迎える予定です。医療経営管理学科は日本で初めて開設される学科で各界からの期待も大きく、また医療福祉学科は栃木県内で初の社会福祉系の4年制大学となります。

21世紀を迎える平成12年には、本校は、定員総数2,560名、2学部7学科の総合大学となります。

◇学長の日程から

*平成7年7月25日(火)

栃木県高等教育連絡協議会出席(宇都宮市)

*平成7年9月9日(土)

茨城県立医療大学科学記念フォーラム講演

*平成7年9月18日(月)

滋賀県高齢化対策審議会出席

*平成7年9月24日(日)

第4回結核フォーラム香川県講演「医療と人権」

*平成7年9月25日(月)

らい予防法改正講演(高松市)

*平成7年9月27日(水)

「連合栃木」講演会(宇都宮市)

◇大学来訪者

*平成7年8月23日(水)

Dr. Dhillon

*平成7年9月14日(木)

栃木県私的病院事務長部会 11名

*平成7年9月20日(水)

東京都私立病院会 30名

*平成7年9月28日(木)

草津栗生楽泉園

*平成7年10月4日(水)

筋ジストロフィー協会 川端会長



◇講演会の開催

*平成7年8月23日

H. S. ディロン氏講演会

演題:

「健康教育の新しい流れ

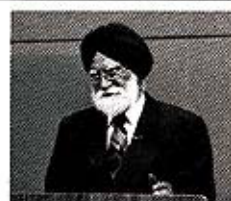
～ヘルスプロモーションの中で～」

去る8月23日、インド厚生省顧問Dr. H. S. ディロン氏による講演会が開催されました。

青いターバンと鋭い眼差しが印象的な同氏は、WHOで勤務されていた時のご経験に基づいて、健康教育や社会的支援の重要性を力強く説かれました。

県内の医療福祉施設関係者を中心に、当日ご来場された100名近くの方々は、話に熱心に聞き入っている様子で、講演後、活発な質疑応答もなされました。

同氏は、学内見学や那須・日光観光を楽しまれた後、お顔をほころばせて帰られました。



◇米国作業療法士協会前会長来校し大いに楽しむ

10月4日に米国作業療法士協会前会長Mary Evert氏(Washington University, 助教授)が来校し、作業療法学科学生に米国の作業療法の現状と課題及び自校の教育プログラムについて興味深い講演をしていただきました。(第6時限)。学生達は世界の作業療法をリードする米国の情報に触れ、実に積極的に質問をしたり、意見交換を行い、楽しいひとときを過ごすことができたようです。Evert氏も、学生の積極性に大いに満足し、また、教員達との本学レストランでの夕食会においても引き続き多くの情報を提供して下さり、教員にとっても刺激が得られた1日でした。



お知らせ

◇学生室から

学生アパート、今年は供給過剰に

地元大田原市では、本学の開学に合わせて学生用のアパート建設を市民に呼びかけ推進していますが、来春の新生入生向けの物件は、どうやら供給過剰となりそうです。

9月末までに大田原市に届け出られた建築数は、88棟984室と今春のアパート入居者数(438人)を倍以上も上回っており、大量の空室が出るのは確実な状況です。今春はアパート数が少なく、苦勞した学生も多く見られましたが、来春は市外からの住み替えや遠距離の自宅通学解消に、絶好のチャンスとなりそうですね。

学生購買動向調査にご協力を

大田原商工会議所は近く、本学の学生を対象にした「学生購買動向調査」を実施します。皆さんの協力をお願いいたします。

この調査は、大田原市にこれまでなかったタイプの消費者である「大学生」が、大田原市の商業にどんな影響を与えるのか、探ろうというものです。

大田原市は、古くは商業の街として栄えていましたが、近年は大型店の進出などで衰退傾向にあります。皆さんが協力したデータは、あくまで数値として活用され、個人のデータが外に漏れることはありません。

また、市内の商業者が学生のニーズを的確に把握することによって、学生のニーズを反映した商業・レジャー施設の増加につながることもなります。

◇管財課から

大学売店より、名称公募のお知らせ

大学開設以来、大学売店ではより皆様に愛される売店づくりを目指してまいりました。その一環として、この度売店の名前を募集することに致しました。採用された方には、豪華プレゼントを呈呈致します。応募用紙は売店カウンターにありますので、奮ってご応募下さい。

旅行取次業務開始のお知らせ

売店では、後期より旅行取次業務を開始致しましたので帰省やご旅行の際の宿泊やJR券、航空券のお求めとご相談は、売店窓口をぜひご利用下さい。

◇入試準備室から

大学説明会報告

7月から8月にかけて開催された大学説明会では、第1回(7/29)約280名、第2回(8/2)約210名、第3回(8/26)約380名、計約870名の参加者を迎え、盛大に執り行うことができました。皆様の御協力に感謝しております。ありがとうございました。説明会当日のアンケートでは、「先輩の方たちがとても楽しそうに学校の雰囲気が良い。」「先生方のお話でやる気が起こった。」「この学生になって社会の役に立ちたい。」といった感想が多く寄せられ、受験生には大変好評だったようです。



委員会報告

◇教務委員会

- 1) 前期終了科目の成績がでる。
学生に前期終了科目の成績を配布しました。成績は優、良、可、不可の4段階であり、不可となった科目は原則として、次年度に再履修届を提出し、履修しなければなりません。
- 2) 他学科の科目履修も可能
時間的および能力的に余裕がある学生は他学科の専門科目の履修が可能です。詳細については事務局まで問い合わせ下さい。
- 3) 次年度の時間割、授業時間の検討中

◇学生委員会

委員会開催日：7月13日、9月13日

審議内容：

健康診断の実施方法、学生用住居の紹介方法、大学祭の開催方法、奨学金の選考規程、駐車場対策、学生購買動向調査の協力。

その他：

現在の学生団体登録数は33団体あるが今後、クラブ助成金、サークル室の貸与などをおこなうためにも積極的な活動を期待しています。

◇国際交流委員会

ディロン博士の講演

『健康達成のための社会のさまざまな力の活用』
8月23日(水)〔午後6時半～8時〕、本学E101番教室で行われた講演会に約100名の学生、教職員・市民が参加し、幅広い経験に基づく力強い講演に非常に感銘を受けました。

博士は長年WHOでグローバルな視点から活躍してこられ、大谷学長とも長年の知己。現在はインド厚生省顧問を務められています。この講演会では、本委員会委員長の田中美子が司会に、英語科の溝口昭子が通訳にと、それぞれ活躍しました。

10月3日 第3回国際交流委員会開催

◇情報化委員会

予てからの懸案でありました、国際医療福祉大学の情報化の問題を検討する場として、情報化委員会が組織化されました。高木理事長出席のもとに、第一回を平成7年8月25日(金)に開催し、委員会の目的(研究、教育、事務情報システムの検討と構築・維持のための協議機関)、メンバー(委員長：榊澤、委員：野原、金井、兵藤、田中ほか各科代表の先生方)、活動内容などの審議の上決定しました。現在、委員会決定に従い、情報化ニーズアンケート、学内LAN及び事務システム構築検討を行っています。

◇紀要委員会

第1回紀要委員会を7月27日に開き、本格的に活動を開始しました。委員構成は野原（委員長）、都築（副委員長）、森田（夏）、藤沢、田川、廣田、牧野、橋本、三井、森田（耕）、相馬（康）の11名です。委員会の中に作業部会（都築部会長）を設け、紀要規則および投稿規定の原案作成、検討を行っております。本学の紀要は年一回発行するものとし、8月22日の第2回委員会で創刊号の年度内発行を目標に原稿の募集を行い、9月26日の第3回委員会で投稿論文の仮題名について検討しました。創刊号の原稿締切日は10月31日です。教員各位の奮ってのご投稿をお待ちしております。

図書館受入図書

9月30日現在、寄贈図書についての受入は下記のとおりです。（順序は受入順）

都築正和様：医科器械学雑誌 1995/7より継続

高木理事長：日本薬理学雑誌 1986/1より継続、その他

丸山仁司様：Journal of Physical Therapy Science 1995/5より継続、その他

野原功全様：核医学 1965/2～1994

佐藤一司様：ぼくたちの小説 1991、その他

石沢英司様：コミュニティ・ケアの社会学 1995

菅 利信様：理科年表1995年度版、その他

大谷学長：看護学大辞典 1987、その他

野首和人様：The New Illustrated Medical and Health Encyclopedia 1-4 1970

那須歯科医師会様：那須歯科医師会沿革史 1995

大野節夫様：留学生のための日本史 1990、その他

報 告

在宅障害者のニーズ調査開始

「大田原市在宅ケアシステム構築のための支援事業」（大学側責任者：荒井蝶子看護学科長）の一環としての在宅障害者ニーズ調査が開始されました。第1次のアンケート調査の回収率その他は下の表の通りです。10月中旬から11月下旬にかけて、理学療法・作業療法・看護・言語聴覚障害学科の教員と大田原市保健センターの保健婦さんとがチームを組んで、障害者のお宅を訪問し、第2次の調査（聞き取りと日常生活行動などの評価）を行う予定です。

対象者	郵送数	回答数	回収率	第2次調査(訪問)可能者
乳幼児	38	23	60.5%	19
成人	194	122	62.9%	73
合計	232	145	62.5%	92

今井教授、中国の大学の名誉教授に

総合教育センターの今井四郎教授（心理学）が、去る9月22日に中国吉林省長春市にある吉林工学院（大学）から名誉



教授の称号を贈られました。同院は40年の歴史をもつ工業大学で、中国の重点大学のひとつ。名誉教授の称号は、米国人、韓国人について今井教授が3人目で、日本人としてははじめてのことです。

おめでとうございます。（写真は授与式の様子です）

渡辺美智雄元副総理外務大臣逝く

国民の医療福祉に熱心な関心と確固たる信念を持たれ、地元の代議士としてだけでなく世界の流れや日本の将来を見ながら、本学の設立に真剣にエネルギーをご尽力を頂きました渡辺先生が去る9月14日おなくなりになりました。人間味溢れた率直な言葉で分かり易く政治経済文化を説かれ、国民的な人気を得られました不世出の政治家渡辺先生を悼むと共に、身近な存在として大変お世話になりました私共国際医療福祉大学の学生教職員役員の全員が改めて先生に感謝の言葉を捧げ、本学を日本を代表する立派な大学に育てあげてを全員で誓いたいと思います。黙禱。



学科・センターだより

実りの秋に寄せて（看護学科）

「戦後最大」と、前ぶれのあった台風が関東地方に上陸とのニュースを聞きながら、翌日から始まる学外実習への影響を心配しましたが、当日は台風一過の日本晴れ。実習では、学生の持てる可能性と感性が十分に養われたことが、カンファレンスから何われ学生の「眼」の鋭さと深さに感銘させられました。後期からは、本学の教員がIBMと共同製作したコンピューターソフトを使っての学習もスタートします。大学周辺の豊かに実った稲を見ながら、学生達が来年もまたどのような実を結んでくれるか、大いに期待しています。



理学療法学科報告

・合同実習行う(9月21、22日)

獨協医科大学、栃木県身体障害者センター、多磨全生園、東京都多摩老人医療センターの4カ所を見学。



・秋の笑運動会行う!!(10月7日、晴のち曇)

種目は球技大会、弁当交換会、車椅子ダービー、綱引き、仮装リレー、抽選会(1等は30万円の品???)。



他学科の先生方や学生さん、事務の方々にも参加して頂き大いに盛り上がりました。仮装リレー(見てはいけないもの)では女子はポッキー男子はアメ玉をバトン代わりにDeep Kissで渡すなど超過激ノオリジナルTシャツも作りました。

・後期より秋山講師乱入ノ?(生理学実習注目ノ)

臨床実習、無事終了。

作業療法学科では、9月18日～22日までの5日間、初めての臨床実習が実施されました。県内6施設の協力により、実りの多い実習を行うことが出来たと実感しています。学生は慣れない実習に戸惑いながらも、現場で働く作業療法士の姿と作業療法を受けている方々の姿に、多くの事を学び取ったようです。

臨床実習指導者の方々を始めご協力いただいた多くの方々、本当にどうもありがとうございました。

言語聴覚障害学科

・夏休み中に本学科学生92名が帰省先の言語訓練施設を訪問し、第一線の言語治療士の臨床を見学しました。見学先は医療81%、福祉15%、教育4%と多岐にわたっています。訪問後に学生からは、1)障害を持ちながら克服の努力を続ける患者の姿に触れ、2)明るく真摯に患者に対応する臨床家の姿勢に感動したと報告がある一方、3)職業生活の緊張感、4)専門家として自らが育ち得るか、5)職業的チャンスが得られるかという不安をもつ等、現場の厳しさに背筋を伸ばした学生もありました。4年後には学生諸君が本領域を拓く担い手に育つ事を期待したいと思います。

・大学説明会前夜は学園祭のノリで説明パネルの作成に奮闘する等、我が学生の躍進力に脱帽ノおかげで当日の学科ガイダンス、聴力検査体験、キャンパス相談は大盛況。笹沼学科長の演説に視察中の大谷学長が飛入り演説して下さる貴重な場面もありました。折念来春入試ノ

放射線・情報科学科

学生の個人面談を楽しく行っています。その中での

会話の一部をそのまま紹介いたします。入学時の大学の感想は「周辺に何も無い、田舎だ」、「寂しいところ」、「先輩がいない分おとなしいかな」、「他大学と比べて学生の年齢幅が広い」、「教員に偉い人が多い」。授業については「カリキュラムがきつすぎる」、「必修科目が多すぎる」、「実験が週2回でレポートがきつい」、「英語が楽しい」、「英語の授業は多すぎかな」、「コンピュータいじれて嬉しい」、「質問の時間が欲しい」、「補習が必要だ」などでした。この他にも沢山ありますがまたの機会にいたします。

教員紹介

(毎号、各学科・センターから1名ずつご紹介頂きます。)

①所属・職位、②生年、③出身校、④専門分野、⑤直前の勤め先、⑥主要著書・論文、⑦本校における担当科目、⑧趣味。

三井速雄



①総合教育センター、教授、②1924年、③京都大学、④社会保障政策、医療経済学、⑤NTTシステムサービス(株)、⑥特になし、⑦医療福祉法制、行政論、⑧植物を見ること、歩くこと、音楽をききに行くこと

川北祐幸



①医学教育センター、教授、②大正15年2月生、③順天堂医科大学卒業、④病院管理学、⑤順天堂大学医学部、⑥院内感染、病院設備等に関するもの、⑦医療管理学、医学概論、⑧一般スポーツ、囲碁

田川義勝



①作業療法学科・教授、②1947年、③米国ウェスタン・ミシガン大学、④作業療法学(特に地域リハビリテーション、高齢者の医療福祉、障害評価学)、⑤金沢大学医療技術短期大学部、⑥作業療法概論(協同医書出版)、作業療法各論(医歯薬出版)、⑦作業分析学、作業技術学、生活技術学、中枢神経疾患作業療法学、⑧人間のするものは一応チャレンジしますが、大抵は中途半端です。

森田耕喜



①語学教育センター・助教授、②1953年、③東京外国語大学大学院地域研究科比較文化専攻、④哲学、⑤帝京平成短期大学、⑥ヘーゲル哲学における言語の問題、⑦哲学・独語、⑧農耕・園芸・テニス・写真・猫の散歩。

須佐公子



①看護学科 助手、②昭和38年9月20日、③栃木県衛生福祉大学校、⑤国立栃木病院、⑧スキー、美術館めぐり

伊藤元信



①語学聴覚障害学科・教授、②昭和15年9月16日、③米国インディアナ州立パデュー大学大学院博士課程、④言語障害学、⑤横浜市総合リハビリテーションセンター、⑥Ito, M. et al: Velar movements during Speech in a patients with apraxia of Speech, Brain&Language, 7, 227-239, 1979、⑦言語聴覚障害学概論、成人発声発語障害学、同演習、言語聴覚障害学研究法概論、同演習、卒業研究、臨床実習Ⅰ・Ⅱ、⑧釣、水上オートバイ、ドライブ、庭いじり。

丸山仁司



①理学療法学科・学科長、②昭和25年、③東京理科大学大学院工学研究科、行岡リハビリテーション専門学校、④運動学、運動生理、⑤埼玉医科大学短期大学、⑥理学療法ハンドブック 共著（協同医書）、他少数、⑦身体運動学、運動生理学、⑧理学療法？

学生四方山話

・火災の早期発見に感謝状

7月2日明け方に学生の鎌田貴学さん、吉田学登さんが火災を発見し消防庁から感謝状を頂きました。大変素晴らしいことですが、この二人明け方に何をして遊んでいたのか？気になるところです。二人の勇気ある行動に拍手！

・本学から「与一」誕生！

8月6、7日「第15回 与一まつり」で見事与一役を務めた津田英一さん。猛暑の中、20kgの甲冑を身に纏い、威風堂々と馬に乗っておりました。また能塚さん、浜さんも凛々しい鎧姿で行列に参加しておりました。



リレーエッセイ

それぞれの秋

看護学科 城ヶ端 初子

私が最も好きな季節は、秋です、秋には「芸術の秋」「読書の秋」「実りの秋」「食欲の秋」など、多くの表現があります。秋になるとキャンパスを抱えて出かけたい私は、「芸術の秋」がびたりときます。

米国で2度、バージニアの秋を過ごしましたが、日毎に変わりゆく山々の紅葉の見事さは、ただ圧倒されるばかりの大きさで、とても絵にはできません。それは暖色系絵の具をごちゃ混ぜにした艶やかさなのです。日本では、京都の嵐山や大原の紅葉に親しみました。それは、心に染み入る真紅の紅葉で、まるでデリケートなタッチの水彩画の世界です。そして、今年、初めての大田原の秋。素朴で野性的な情景は、上の2つの秋とは全く異なるものです。澄みきった空に赤とんぼ。那須連山を遠景に、どこまでも波打つ黄金の稲田。まさに「実りの秋」です。それはまた、遠い昔のふるさとと重なって、なつかしさと暖かさを感じさせてくれます。いつかきっと描いてみたいと思う風景です。

先日「秋が大好き」と言ったら、友人が即座に「美味しいものがいっぱいね」と言いました。私のイメージは「芸術の秋」よりも「食欲の秋」なのでしょうか。

次回執筆：田中美子教授（所属：語学センター）

編集後記

後期が始まってはや1ヶ月になりました。キャンパスは活気に満ちております。夏休み中の収穫が多かったためか、学生の皆さんも一廻り大きく見えますね。今まさに秋本番です。中国古典の「礼記」に「玉琢かざれば器を成さず、人学ばざれば道を知らず」とありますが、スポーツ・芸術などを楽しみながら、勉学の方も大いに漬けて行きたいものです。

本号からリレーエッセイのコーナーが新設されました。執筆は本学教職員の皆さんです。当月の執筆者に次号の方をご指名いただき、順次リレーいたします。ご協力をお願いいたします。

第3号にたくさんのご投稿をいただき感謝いたします。

(寺沼幸子)

